

石狩交流事業報告書

うんな中学校 1年C組11番 竹田ふく



右の写真は砂岡丘の風資料館の写真です。

資料館では石狩市とアイヌの交流、昔の漁、使っていた石器などの資料や石器がたくさんありました。

初めて知ったことは「チョウザメ」についてです。

チョウザメは神様(石狩川の主)とされているそうです。

またサメ様と呼ばれたり、神社などにも祭られているそうです。

しかも石狩市は日本で初めて缶詰工場が設置された場所だそうです。

当時は鮭がたくさんとれていたため鮭缶として販売していたそうです。

この風資料館から石狩市の人々の生活や生き物、文化について知ることができました。

左は花川南中学校との交流中の写真です。花川南中では給食を食べた後に学校紹介を行いました。給食はラーメンで沖縄の麺とは硬さと太さが違いました。

学校紹介では石狩市の郷土料理や方言などを紹介してくれました。

石狩には「石狩鍋」という鮭を使った鍋があるそうです。

花川南中の生徒はとてもフレンドリーでやさしく、元気いっぱいでした。

最初はとても緊張していたけど花川南中の子どもたちが話しかけてくれたので少し緊張がほぐれました。

学校紹介の際にもクイズの答えが分かったときには拍手をするなど耳をかたむける姿勢が感じられ、とても感心しました。沖縄の子と異なる点は「積極性」と「コミュニケーション能力」だと思いました。





右の写真はさっぽろ雪まつりの時の写真です。

さっぽろ雪まつりでは1キロもある道を歩き、雪の彫刻を見ました。

小さいものから建物のように大きい彫刻もありました。

すごいと思った彫刻は陸軍の彫刻です。

とても大きくてびっくりしました。

雪まつりの屋台ではジンギスカンやソフトクリーム、ホタテなど北海道の名物がたくさんありました。

とても広かったし、人も多かったので迷子になりそうでした。

ですがたくさんの雪の彫刻があったのでとても楽しくていい経験になったと思います。

右の写真はスキー体験の写真です。

スキー体験ではリフトに乗り山の間までいき滑りました。

私は一回経験したことがあるので二回目の体験でした。ですがとても楽しかったです。

インストラクターの方が止まるときの姿勢や滑るときの姿勢などをていねいに教えてくれたのでちゃんと滑ることができました。

スキー場はとても寒くて、人もたくさんいました。

昼ごはん休憩のときには雪がたくさん降っていて、沖縄では絶対に見られない景色だったのでとても感動しました。雪はきれいな結晶の形で驚きました。

もし機会があればまたスキーをしたいと思いました。



《感想》

今回の石狩市交流事業に参加して、石狩市の文化や人柄についてしることができました。

花川南中の生徒とも楽しく交流することができました。沖縄では体験できないことをたくさん体験してとてもいい経験になりました。